

# 事例 26 思考展開シート

## (1) 疾病や薬の副作用等の影響は考えられますか？

・アルツハイマー型認知症。短期記憶障害が著明。2、3分おきに同じ話を繰り返していた。入居時はアリセプトを服用していた。  
取り組み開始と同時に、アリセプトを中止した。(自宅でもきちんと飲んでいなかったことが予測できたため)しかし、服用していた頃と大差なく、現在はとても落ち着いている。

**【質問】**「アルツハイマー型認知症による短期記憶の障害が著明」とありますが、直近のインパクトの強い出来事の記憶も残らないようなレベルでしょうか？(コールや放送を覚えたとありますが、内容等を覚えているレベルでしょうか？)

**【回答】**

・入居して数日たっても、「昨日来たばかり。」と言っていたり、同じ職員と数時間前に顔を合わせていても、「ああ、今日はじめて会うわね。」等と言っていました。コールや放送については、「寝ている方がボタンを押されたから鳴るのですよ。」「職員を呼ぶ時のマイクですよ。」という覚え方で、内容自体を覚えている様子ではありません。

## (2) 身体的痛み、便秘・不眠・空腹等による苦痛の影響は考えられますか？

・食べない、飲まない、の暮らしが続いていたため、影響はあると思われる。又、排便の確認は全くできていなかった。  
入居後確認可能となり、現在は3日以内に排便あり。

## (3) 悲しみ・怒り・寂しさ等の精神的苦痛、また本人の性格等の影響は考えられますか？

・Aさんが納得していない入居であったため、怒りや興奮は当然と考える。「はがゆい」と入居当時はよく言っていた。  
一人暮らしが長く、近年人付き合いも殆ど無く、ヘルパーや近隣の住民とはトラブル続きだった。本来話し好きな性格であったため、関わり方を変え、Aさんの得意としていることを施設の中で行ってもらううちに徐々に落ち着きを見せ始めた。

**【質問】**他人の世話になることをあまり良しとしない性格でしょうか？

**【回答】**

・「私のことを勝手にあれこれされるからいや。」という発言もあります。在宅中は、自分が特に信頼している人の言うことしか聞かず、ヘルパーを追い返した際は、ケアマネジャーがその都度来ていた様子です。人の世話をするのは好きだったが、逆の立場になるのはAさん自身、「想像のつかないこと」だったり、「そんなはずはない」ことではないかと思えます。

## (4) 音・光・味・臭い・寒暖等感覚的な苦痛を与える刺激の影響は考えられますか？

・在宅生活では聞くことがなかった音(コールや放送、エレベーターのドア開閉音など)が増えたが、すぐに覚えた。これが大きく影響したとは考えていない。

本人の言葉や状態  
ワークシートC- に書いた、本人の言葉や行動を書き出し、関連のありそうな情報を整理してみましょう。

・ポシェット内を全て出して保険証や連絡先ノートを探す。  
・「お金がない。」と言って食事を食べない。  
・椅子を準備しても、絶対に座らず、出口やエレベーターをじっと見つめて立ち続けている。  
・入浴や着替えも、「家ですからここでする必要はない。」と、頑として受け入れなかった。

## (5) 家族・介護者など周囲からの過剰、あるいは少なすぎる関わりの影響は考えられますか？

・一人暮らしから突然施設へ入居となったため、多くの人と共に長時間過ごすことへの戸惑いは当然ある。  
・職員の思いが先行し、あからさまに「お風呂に入ってほしい」「食事を食べてほしい」という気持ちがこもっている言葉かけが殆どであった。  
・これによって、Aさんから見ると、「職員は口を開けば自分に指示する」と捉え、職員の言葉かけを聞きたくないと感じていたのではないかと推測している。

## (6) 障害程度・能力の発揮に対して、住まい・器具・物品等物的環境による影響は考えられますか？

・自宅からの入居であり、自宅で使用している器具とは殆どが違っている。居室が4人部屋であるため、一人になれる場所がない。  
・常に大勢の人が周りにいるという環境は、Aさんの精神的な落ち着きや安らぎを阻害していたと考える。

**【質問】**自分で使えるようなしつらえは、用意されているのでしょうか？

**【回答】**

・タンスやトイレは好きなように使ってもらっています。しかし、電話や冷蔵庫は部屋にないため、自分で使いたくても使えない状態です。浴室は自宅のものより広く、職員が見守りをしているなどから入ろうとしないため、時間を決めず、好きなように入ってもらおうとしたところ、入浴しないということがなくなり、現在は他の方と一緒に夕食前に入浴しています。

## (7) 要望・障害程度・能力の発揮と、アクティビティー(活動)とのズレによる影響は考えられますか？

・自宅では不完全であれ、何かしら自分で行動を起こさなければならなかったことが、施設入居をきっかけにその頻度は減った。  
・「何もすることがないので、何のためにここにいいのか分からない」と感じていたと予測している。

**【質問】**趣味の編み物は、いつごろまで続けていたのでしょうか？  
また、施設に入ってから編み物をするのはあったのでしょうか？

**【回答】**

・編み物は、Aさん曰く「若い頃」としか答えません。勧めてみましたが、「目も見えにくくなっているから嫌だ。肩がこる。」と、手で編むしぐさをして、よく見せてくれます。実際、いつからしなくなったのかは不明で、入居後も行っていません。

## (8) 生活歴・価値観等に基づいた暮らし方と、現状とのズレによる影響は考えられますか？

・ずっと一人で暮らしてきたので、大勢の人と生活することへの戸惑いや落ち着かない気持ちは理解できる。「なんでこんな所に来たのか。」とよく言っていたことから、施設の居心地はAさんにとってとても悪かったと考える。